



ヨゼフ アベイヤ 司教認可  
発行所 福岡教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行人  
カトリック福岡教区  
編集人 山元 真  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡教区  
定価 1部70円

5月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう  
【教皇の意向】 信仰豊かな若者  
【日本の教会】 困窮者との連帯

「福岡教区宣教司牧方針」  
準備委員会に参加して

先月、福岡教区の「宣教司牧方針」が発表された。この2年の歩みの実り、教区全信者の想いと希望が詰まったものである。今号では、その準備委員会で策定に携わった福岡教区信徒徒職協議会前会長・田中拓氏と、福岡地区カトリック女性の会会長・川原圭子氏に、作業中や発表に向けて湧き上がった想いなどを語っていただいた。



何をすることが大切  
水巻教会・田中拓

私は昨年度まで福岡教区信徒徒職協議会（信徒協）の

会長という立場にありました。2021年の5月だったか、アベイヤ司牧様から教区のビジョンをまとめるのを手伝ってほしいとの電話をいただきました。信徒協会長という立場上、2回ほど司牧様とお会いしたことがある程度でしたが、着座されて間もないので、とりあえず私の顔が浮かんだのかなと思ひ、引き受けました。

表される気配がないので、委員であることは言っていないことと勝手に思い込んでいました。ビジョン（案）を示してから、もう一度アンケートを取りましたが、「何の意味があるのだ」といった声が周囲から聞こえてきたこともあり、自分が委員であるとも言えず、黙って聞き耳を立てていました。周りの人、ゴメンナサイ。

福岡教区宣教司牧方針の策定のために、準備委員会の委員として何故私にお声がかかったのか詳しい理由はわかりませんが、多分「無知な私でも、分かるようなものを作らしよう」ということだったのではありませんか。

感謝・情熱・希望を胸に

笹丘教会・川原圭子

福岡教区宣教司牧方針の策定のために、準備委員会の委員として何故私にお声がかかったのか詳しい理由はわかりませんが、多分「無知な私でも、分かるようなものを作らしよう」ということだったのではありませんか。

時の話題

若松教会広報誌「おとずれ」とともに

「福岡教区事務局から広報委員会を設置するよう呼びかけがあり、そこで若松教会の広報誌を出すことになりました」これは、1994年10月2日発行の若松広報誌「おとずれ1号」の記事です。それから28年間、毎月発行が続いてきました。初めは福岡教区からの呼びかけでしたが、長い間、若松教会の典札祝日の様子や親睦会、CYG（シーク）、キャンプなどの行事報告、子どもたちの成長に伴う入学・卒業の感想、主任司祭によるコラムなどが毎月掲載され、今では若松教会の過去の記録として誇らしい遺産となっています。

「おとずれ1号」はこのように悩みに一つの道を示してくれていました。「この小さな教会で行われていることを「知る」というのは、とても大切なことではないでしょうか。若松教会共同体一人ひとりの「顔」が浮かび上がってくるという思いながら、そう思いながらこの広報誌を作り始めました。300号に向けて新しい企画を考え、皆で参加できる「おとずれ」にしたいと思います。若松教会 広報委員会

世界召命祈願の日（復活節第4主日）に寄せて

光丘教会・主任 十時 伸治神父

「あなた、初めて見るね。どこから来たの」。大学生になり、初めて訪れた教会の主日ミサ。誰かから声を掛けられるとは思っていませんでした。その教会は、聖堂入口で「聖書と典札」や、その他の配布物を配りながら、挨拶を行っていました。声を掛けてくださった関西のお母様方のペースに巻き込まれ、いつの間にか「初めて訪れる教会」という緊張がほぐされていきました。大学の先輩もいましたし、声を掛け合う温かい雰囲気、居心地がよくなり、その教会に通うようになり、お互いに疎遠でいられるの、不思議でありません。すべての始まりはこの問題から克服すべきだと思えます。司教様は「宣教司牧方針はあくまでも道具です」と話さ

「あんな、初めて見るね。どこから来たの」。大学生になり、初めて訪れた教会の主日ミサ。誰かから声を掛けられるとは思っていませんでした。その教会は、聖堂入口で「聖書と典札」や、その他の配布物を配りながら、挨拶を行っていました。声を掛けてくださった関西のお母様方のペースに巻き込まれ、いつの間にか「初めて訪れる教会」という緊張がほぐされていきました。大学の先輩もいましたし、声を掛け合う温かい雰囲気、居心地がよくなり、その教会に通うようになり、お互いに疎遠でいられるの、不思議でありません。すべての始まりはこの問題から克服すべきだと思えます。司教様は「宣教司牧方針はあくまでも道具です」と話さ

大分教区司教に  
森山信三神父任命



2022年4月5日、教皇フランシスコは、これまで空位が続いていた大分教区の司教として、スルピス森山信三神父（福岡教区司祭）を任命しました。

＜略歴＞

- 1959年1月 福岡市生まれ
  - 1981年4月 福岡大学卒業後、福岡サン・スルピス大神学院入学
  - 1988年3月 司祭叙階（福岡教区）
  - 叙階後は、福岡教区内の小教区主任司祭、幼稚園園長、カトリック長崎教会管区司祭、志願院福岡ラジオ院長等を歴任
  - 2020年4月 カトリック中央協議会出向
  - 2021年4月 カトリック中央協議会事務局長
  - 2022年4月 大分教区司教に任命される
- ※なお、司教叙階式の日程の詳細については改めてお知らせいたします。

「宣教司牧方針はあくまでも道具です」と話さ

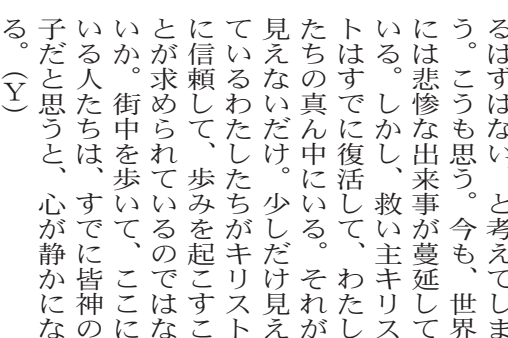
「宣教司牧方針はあくまでも道具です」と話さ

「宣教司牧方針はあくまでも道具です」と話さ

「宣教司牧方針はあくまでも道具です」と話さ

「宣教司牧方針はあくまでも道具です」と話さ

「みちくさ」の材料を探すべく、夜、散歩に出た。教会があるのは閑静な住宅地。しかし5分も歩けば賑やかな街の中心に出る。夕食の時間。住宅街を歩いた。一軒家もアパートもマンションも多くの窓に明かりが灯っている。高層マンションにも。夕飯の匂いがする。家族団欒の声も漏れ聞こえる。子どもの声、大人の声。いろいろ。犬の鳴き声も。高校時代の同級生にばったり会う。引越して来たばかりのときに、手製のグルメ地図を片手に街を案内してくれた友だちだ。しばし昔話に花が咲く。大都市の一角。静けさのどかさが共存している。教会に戻ってルルドの前のベンチに座る。高いところにある聖母像の後ろ、あなたには高層マンションが並んでいる。その灯りを見ながらふと考える。この街にキリスト者と呼ばれる人はどのくらいいるのだろうか。「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」（マルコ福音書16章15節）とイエスは弟子たちに言われた。すべての人に福音を告げること、それはすべての人に洗礼を授けることだろうか。正直、そんなことはできないはずはない、と考えてしまふ。こうも思う。今も、世界には悲惨な出来事が蔓延している。しかし、救い主キリストはすでに復活して、わたしたちの真ん中にいる。それが見えないだけ。少しだけ見えているわたしたちがキリストに信頼して、歩みを起こすことが求められているのではない。街中を歩いて、ここにいる人たちは、すでに皆神の子だと思ふと、心が静かになる。（Y）



園田教会（大阪大司教区）時代の十時神父（右から2番目）



～ 聖書週間から聖書習慣へ ～



毎年11月、聖書に親しみ、聖書をより正しく理解するための運動として「聖書週間」が定められています。聖書に「より強い関心を持ち、親しみ、神の心に生きる」ようになるためにも、年に一回の機会だけでなく、常に「聖書習慣」を身に付けることを実践したいものです。今号では、笹丘教会で行われている聖書100週間の分ち合いの様子を紹介します。

「聖書100週間」 笹丘教会

私達の教会では、二つの聖書の分ち合いのグループがあります。一つは、毎週火曜日の夜間と水曜日の午前中に行っている、聖書100週間と、もう一つは、毎月第二・第四曜日の午前中に行っている、主日のみことばの分ち合いです。今回、聖書100週間に集まっている方々の感想を、以下に記します。 笹丘教会 主任 遠山満神父

「以前、挫折した聖書100週間に新たに参加中です。前は難しく考え過ぎ苦痛に思う事もありました。今は日々の祈りのように身構えず、まっすぐな気持ちで聖書を開きます。印象的な箇所、感想が自然に湧き、分ち合いの喜びも感じています。『聖書100週間』への参加を決意して2ヶ月が過ぎ、未だ毎回ドキドキしながら参加させて頂いています。参加者の皆さんのお蔭もあり、収穫も多く、残念な事にも遠い存在だった『聖書』が少しばかり身近になり始めた事は喜びです。『始まってから2ヶ月あまり、毎週いつものメンバーと顔を合わせる事がとても励みになっています。毎日決まった時間を聖書に当てる習慣を早く確立しなくてはと思っています。『聖書を全部1人で読み通す事はとても難しい事です。それで聖書100週間に通う事にしました。神父様にご指導を頂き聖書に対する理解も一層深まります。最近聖書と共に暮らす日々です。毎週和やかに勉強させて頂いております。感謝です。』



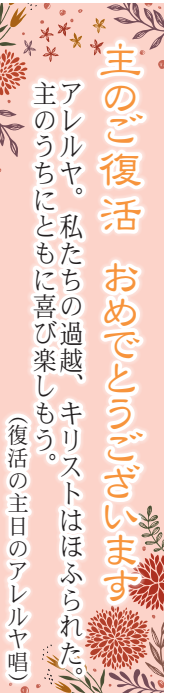
聖書が身近な読み物に

「初めて聖書100週間に参加させて頂き、生活の中で聖書を開く時間が習慣付けられた事を嬉しく思います。聖書を読む時間は、神様の事を想い、自分の心とも向き合え、子育てと日常生活に追われる日々の癒しと活力になっています。『聖書100週間に参加して、皆さんの感想に学びながら、楽しく勉強しています。仲間がいて、神父様のお話も伺えて、大変楽しい時間です。あと90週くらいありますが、最後まで頑張ります』

聖香油ミサと 司祭職制定の祝い



香油を祝福・聖別する司教



復活の主日のアレリヤ唱

4月13日(水)、カテドラル大名町教会(主任・中村彰神父)で、福岡教区長・ヨゼフ・アベイヤ司教主司式による聖香油ミサが行われた。未だ収束の気配を見せない感染症拡大防止のため参加者は制限されたが、司祭団55人を含め3階席まで人が溢れた。

ミサの中で司教は「祝別された聖香油が各小教区へ配られることによって、教区の全ての共同体の一致が表される」と語った。また同時に行われる司祭叙階の約束の更新について、「与えられている使命である『喜びを持って神の言葉を伝え、行いを持って証しするために遣わされている』ことを確認し、ともに歩みながらこの使命を果たすめぐみを願いたいと思う」と述べた。その後、秘跡の執行に用いられる香油が司教によって祝福・聖別された。

ヨゼフ・アベイヤ司教は、4月14日(木)から始まった聖なる3日間のミサ、典礼をカテドラル大名町教会で司式した。クライマックスの復活徹夜祭では、「主の復活を喜び、そこから私たちは大きな希望が与えられます。イエスが復活し、今も生きておられるだけでなく、私達をも生かして下さるのです。人間は、死ではなくいのちに向かって歩むのです」と述べた。また、この日は、5人の求道者に入信の秘跡(洗礼・堅信・聖体)が授けられた。司教は受洗者たちに「まだまだ分らない事があるでしょう。私も分らない事はたくさんあります。しかし、洗礼を受ける条件はただ一つ、イエスの歩んだ道を歩みたいと願う、それを生活の中心に置く事だけだ」と話し、また「すでに洗礼を受けている人も『イエスについていく』この決意を新たにしたい」と語った。

カテドラルでの 復活徹夜祭

復活の1人、モニカ・テレス里村英子氏は「大名町教会の兄弟姉妹の皆さまと、私の家族に見守られ、受洗のめぐみの時を迎えられたことは、イエス様のお導きだと思えます。皆さま、これからもご指導よろしくお願ひします」と感謝の気持ちを表した。



堅信の授けを受ける受洗者たち

洗礼のめぐみを いただいた

この春、入信の秘跡(洗礼・堅信・聖体)を受けた人々の声

【手取教会(主任 櫻井尚明神父) マルタ長野都代】 2019年、私がカトリックに気持ち傾いていく出来事が続けて起きました。息子が結婚した相手のお母さんが信者の方で、私にとって初めての身近な信者さんとなりました。それからノートルダム大聖堂の火災が起き、

秋にはローマ教皇が来日されました。TVでその様子を見て、初めて教会の中に入りたいと思えました。それから9ヶ月半。その後もいろいろなお祈りがありましたが、神様のお導きでここまできることができたと感じています。 【二日市教会(主任 竹内英次神父) ヨゼフ川端秀雄・マリア川端啓子】 私たち夫婦が初めて二日市教会のミサに参加したのは2020年2月でした。その年の12月、私は不思議な夢を見ました。天から黄金の光が差し込み、その光を受けた人びとは高齢者も、体の不自由な人も、皆背筋が伸び若々しくなっていました。今でもはつきり覚えています。 私の両親と姉夫婦は熱心なカトリック信徒ですが、妻は真言宗の家で育ちキリスト教に馴染みがなかったためか、しっかりと生きていくのには思わぬようにならない人生を歩む人や、勧善懲悪でない事が腑に落ちなかつたり、また、聖書の例え話には、自分ではどうかなと考えた事が、お説教では違ったことも多いらしく、自分と神様のお考えが違うのだろうと言います。 私たち夫婦は高齢で、聖書の教えやお説教が難しく思えます。ですが最近はいエス様、マリア様を拝むだけで心が和み幸せを感じています。洗礼を受け、人生の終活で教えを楽しく生きて参ります。 【高宮教会(主任 クマル・プラビン神父) ソフィア山本明子】 高宮教会に通い始めてまだ1年ですが、今回洗礼を受けさせて頂く事になりました。まだまだ勉強不足ですので不安も有りますが、この貴重な機会を与えてくださった神父様、代母様、教会の皆様から感謝しております。 分らないことも多いですが、勉強に励み理解を深め、少しずつ教会の活動にも参加できたらと思います。 どうぞ宜しくお願いいたします。 【日本での宣教生活 後編】 コース・マルセル神父 1990年、日本の政府は労働力の不足を補うために、ブラジルとペルー在住の日系人に労働ビザを発行し、何千人の人々が一挙に仕事を求めて日本に上陸しました。その中にはカトリック信者が大勢おり、日本のカトリック教会は移住者の急増に対処するため、福岡教区では松永久次郎司教が私に教区内の移住労働者に対する「司牧」をするようにと言われました。そして1994年に外国人の支援をするために福岡の美野島司牧センターを開設しました。司祭としての義務を務めながら、彼らの日常生活の様々な問題、あるいは入国管理センターに収容されていた外国人の面会などの対応に忙殺されていきました。彼らは日曜のスペイン語ミサの時に教会に集まり、明るいアンデスの歌をギターで奏でたりして一週間の生きる力を満たします。私にとって彼らと出会ってからは、宗教的な司牧だけではなく、毎日の生活に深く関わることでした。 移住労働者たちと過ごす中で、私の生涯は大きく変わりました。この経験のおかげで私は進むべき道に神が現れるのを実感できるようになったのです。私は前進するしかありません。立ち止まって呼吸を整える間もなく、ただ前進するだけです。 美野島司牧センターを開設した翌年に、DARC(ダルク)の薬物依存症者がリハビリテーションの場を求めてやってきました。薬物依存の世界に全く無知だった私は即座に返答できず、センターの屋上でシンナーを吸って幻覚を見た若者が飛び降りようとしてきたらと思います。 どうぞ宜しくお願いいたします。

計報

今回の前後編のコラムでは伝えきれなかったコース神父の想い、また福岡教区での長きに渡る数々のお働きについて、福岡教区ホームページ「ものがたり」ではさらに詳しく語っていただく予定です。楽しみにお待ちください。

マリア 葛島サミ 修道女 (シスター伊万里の聖母修道院)

4月2日帰天。享年89。修道生活69年でした。

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリヤ 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリード赤一丸
薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店
福岡メモリード(株)
0120-45-1616

別れ・出逢い・旅立ち
草苑(SOU-EN)
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5



知りたい！  
福岡教区内の  
修道会  
宣教会②

前号より、現在福岡教区に派遣され、それぞれのカリスマで働いておられる修道会・宣教会を紹介しています。  
第2回目は、熊本地区に2つの修道院があるマリアの宣教師フランシスコ修道会です。

マリアの宣教師フランシスコ修道会  
(熊本県 熊本修道院・八代修道院)

創立者マリ・ド・ラ・パシオンは1877年、インドのオータカムドに本会を創立しました。「世界宣教」を目的とした本会は、本部をローマに移し世界中を宣教の場と考え、貧しい人に良い知らせを告げるために、聖霊によって「父」から遣わされたキリストの使命を続けることが私たち宣教師の使命です。

会員はまだイエスが知られていない所、特に貧しい人々の所に派遣されます。日本には、1898年、パリミッション会のコール神父様の呼びかけによって、熊本の本妙寺境内に横たわっているハンセン病患者のために派遣されました。神父様は当時の状況をご覧になって、大墓地と表現しておられ、人間として扱われていない患者の支援を本会に要請されたのです。ハンセン病患者のことなら決して断らない創立者は無条件で引き受け、若い5人のシスターたちを派遣しました。フランスのマルセイユから長崎まで1カ月余り船に揺られ、大きな愛をもって長崎の地に着きました。

看護の資格も経験もないシスターたちは、まず辞書を片手に日本語の勉強を始めました。土地の習慣を学びながら、桶をもって患者の足を洗うことから始めました。しばらくして粗末な日本家屋から、現在の広大な土地に修道院と待病院（ハンセン病患者の家）を建築して移りました。敷地内にうずくまっていた老女を修道院でお世話することにより、現在の「聖母の丘」老人ホームの前身が、また待病院の患者の子供を預かることにより、現在の「このとりのゆりかご」として命を守る施設に発展してきました。多い時は500人近い人たちがシスター達と力を合わせて自給自足の生活をいたしました。今でも当時の枇杷の木、ミカンの木などは沢山の果を付けてくれます。

現在、熊本修道院は36人、平均年齢87歳の介護修道院です。しかし世界を視野に宣教をしている本会は、一人ひとりが存在目的に応えることによっていただいた召命を生きています。2018年からは、世界の変化に応えるため管区から地区に移行しつつあり、日本、オーストラリア、ミャンマー、シンガポール、マレーシアの5か国が一つの地区になり、「私たちの存在目的」をもって歩み始めます。

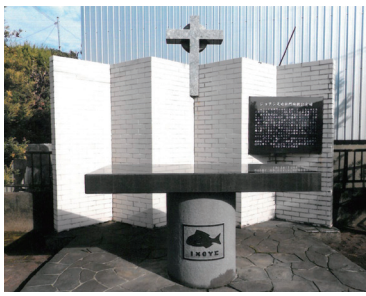
「Nice to meet you!」  
英語のレッスン風景



この変化に応えるため、熊本修道院は地区の共通語である英語のレッスンを始めました。ロザリオの祈りを英語で唱えることを目標にボランティアの先生に来ていただき、96歳のシスターを先頭に発音の特訓を受けています。教会あつての修道院です。福岡教区の「宣教司牧方針」に信者として宣教の活性化に協力して参ります。よろしくお願ひいたします。

(熊本修道院前院長：Sr. 入江純子)

ジョアン又右衛門（幼名又五郎、五島の宇久島でジョアンの洗礼名を受け後藤寿庵と名（のる）は熱心なキリスト教



魚文字の記念碑

ジョアン又右衛門の  
殉教の軌跡  
本郷教会 中島久雄

「福岡教区内の殉教者を偲んで」の最終回は、筑後地区。彼らの信仰と希望、そして愛を思い起こし、私たちに求められる歩みを黙想したい。

の信者であった。彼は江戸時代における苛酷な迫害の最中にあつても、九州の今村・本郷地区を中心に、密かに信者、村人たちを教え導き、筑後地区に大きな感化を与えた。伝説の一例を挙げる。彼は今村に移住して農業を営む大農家であった。大雨が降り出したとき、庭に乾してあつた稲を急いで片付けようとしたが、彼が祈禱書を手に祈りながら庭を一回りする、その庭だけ濡れないで通り過ぎたというのである。しかし、キリシタンを信奉していることが露見し、彼は厳しく棄教を求められたが、信仰を固守

し断じてこれに応じず、人々の見せしめとして大刀洗町本郷（通称：流川）の獄門場（俗称ハタモン場）で磔刑に処された。すると、不思議なことに、曇つて暗くなり、牛が倒れ、わらじの紐が切れたり、小鳥が地に落ちたりと、彼の死刑を悼むがごとく、哀悼の情が世の中を覆つた。彼の遺体は戸板に乗せられ、今村の西小路の竹藪に埋葬され、埋葬場所を『ジョアン様の墓』と称し、お墓参りをして祈りが捧げ続けられた。現在の今村天主堂の祭壇の下がジョアン様の墓といわれている。また本郷の『ハタモン場』に記念碑が設立され、ギリシャ語の「神の子キリスト」の頭文字が魚を意味する単語であることから、迫害時代の信者の証しを心にとどめるために、魚の絵が黒御影石に刻まれている。

私はヨゼフ・ヴォーターフォンと申します。ベトナムのヴィン教区タイフォン教会の出身です。11人兄弟姉妹の農家の家族に生まれ、家族全員がキリスト者で、子どもの頃からカトリックの教えを受けて育ちました。母が教会に連れて行くたびに、スータンを着ている神父様のお姿を見て、格好いと感じていました。中学生時代にもっと神父様のことを知りたいと思

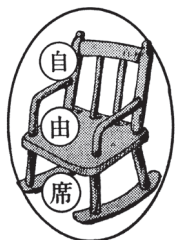


ヨゼフ神学生（鹿児島ザビエル聖堂にて）

福岡教区の神学生を紹介 2  
ヨゼフ ヴォーターフォン 神学生

い、教会で侍者と朗読の奉仕をしていました。高校卒業後に、司祭になりたい気持ちを持ちながら大学に入ろうと思いましたが、家計が苦しくて諦めざるを得ませんでした。その後、両親を支えるために、技能実習生として2016年9月に来日しました。そして5年間、田川教会に通っていました。はじめて教会に来て驚いたのは、信者さんが少ないだけでなく、青年がいなくて、高齢の方が多いということでした。そのような状況を見た瞬間、将来の日本の教会がどうなるのだろうかと心配になりました。毎週日曜日は教会に行つて、

ミサの準備と侍者をしていました。日本語が少しできるようになると、朗読を頼まれ行うようになりました。とてもうれしかったです。この約1年間、自分のことや人生の目的を考え始めました。自分が罪人だと意識しながらも「神よ、どうしたらいいですか？ もし私をお呼びになるのなら、お助けください」と祈りました。次第に心の平安を感じ、神が回心のめぐみを与えてくださった気がしました。ある神父様に相談して助言をいただき、司祭召命への道を決めました。将来、福岡教区で奉仕させていただきます。カトリックのあれこれを知りたい人から洗礼志願者またはあらためて学びたい人まで必見の本。



小さいのちを守るため  
鳥栖教会 宮本美奈子

2019年11月、教皇フランシスコが日本を訪問されました。来日テーマは「すべてのいのちを守るため」。以来、鳥栖教会では、「今何が私達に求められているか」を探してきました。そのような時、目に入ったのが、以前から聖堂の入り口に置かれていた「円プリオ基金」の募金活動の箱でした。広報が行き渡っていないか、協力が得られていないか、協力は「善い」活動をするにあたり教皇は、すでにあるグループと一緒に活動することを勧められています。そこで私たちは「いのちは大自然からの授かりもの、おなかの赤ちゃんも社会の大切な仲間」をコンセプトに活動していた「佐賀

いのちを大切にしよう」に協力することにしました。主任司祭が教皇の訪日に同行していたこともあり、教皇の意向を意識しながら「福祉・社会活動」のために奉仕メンバーが集まっていますが、その中に絵を描く人がいて、基金の協力呼びかけのため、聖書をテーマにした福音カードを作成し、頒布献金を始めました。はじめは「円プリオ」でしたが、他の支援を必要とする会への協力も検討しつつ、活動していきたいと思つています。3月13日〜20日まで原画展も開催し、頒布献金を呼びかけました。ご協力いただける方は鳥栖教会支援奉仕グループ（☎080・6960・6168 宮本）までお声掛けください。

◆原稿は400字程度  
◆投稿先・福岡カトリック司教館  
FAX 092・523・2115  
メール cat.kouhou@city.yocote.com  
皆さんの声をお待ちしております。

BOOK  
読は専科

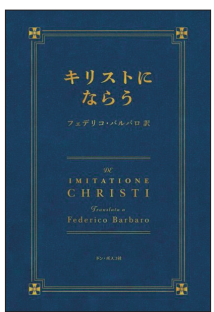
☆イラストで知るカトリック  
教会生活  
サンパウロ(編集)



日々の教会の中で使用される教会用語や典礼用語、また祭儀で使用される聖具、祭服や教会の構成メンバーなどをイラストでわかりやすく紹介する。カトリックのあれこれを知りたい人から洗礼志願者、またはあらためて学びたい人まで必見の本。

サンパウロ発行  
税込価格660円

☆キリストにならう  
フェデリコ・バルバロ(訳)



「第二の福音書」「中世最高の信心書」と謳われる本書は、キリスト教霊的書物の名作であり、聖書について多くの人に親しまれた本である。簡潔で飾り気のない正確な文体が特に賞せられ、中世特有の美しいラテン語で書かれ、神への烈々たるしかも慎み深い愛と、深い敬虔が紙面ににじみ出ている。完徳の道に至るための教訓から書き出したこの本は、自然に、観想と神秘の奥地である神との一致に招く。

ドン・ボスコ社発行  
税込価格1500円

広告掲載をご希望の方は  
下記までお問い合わせください  
福岡教区本部事務局 広報部  
電話 : 092-522-4059  
メール : cdf-kouhou@nifty.com  
※この枠で1回(ひと月)5,000円の献金(目安)をお願いしております。  
※内容によってはお断りさせていただく場合もございます。あらかじめご理解とご了承のほどをお願いいたします。

社会医療法人 雪の聖母会  
聖マリア病院  
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422  
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115  
聖マリアヘルスケアセンター  
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5  
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306  
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん  
と一緒に働いてみませんか  
URL : http://www.st-mary-med.or.jp/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション  
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。  
費用は医療、介護保険でのご利用になります。  
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313  
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

キリスト教書籍・用品  
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ！  
http://www.paulus.jp  
パウルスショップ  
メディアによる福音宣教のために...  
サンパウロ福岡宣教センター  
10:00~18:00(月~土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分\*駐車場完備  
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930



年間目標 キリストの愛に駆り立てられて 人々と共に歩む教会

福岡地区・春季「聖書による養成講座」 イエスとともに食卓を囲む

イエスは福音宣教をしながら社会的境界線を外し、排斥された人々に愛と赦しを与え、神の宴会に招かれました。食事や食べ物に関して重大なエピソードがあるルカ福音書を通し、聖体の源泉を探ってみましょう。



【大名町教会】5月10日より毎週火曜日 午前9時～10時 夜9時～10時 【光丘教会】5月13日より毎週金曜日 午前9時～10時 夜9時～10時 講師：レナト・フィリピーニ神父（教区信徒養成担当） 全10回（各回約90分）・資料配布・参加費無料



世界広報の日・献金（復活節第6主日）

「世界広報の日」は、私たちの使命である福音宣教の分野の中でも、とくに新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、映画、HP・SNSなどの広報媒体を用いて行う宣教について、教会全体で考え、反省し、祈り、献金をささげる日です。また、毎年特別のテーマが決まられ、教皇メッセージが出されます。メッセージ全文は右記QRコードあるいは下記 https://www.cbj.catholic.jp/2022/04/06/24464/（外部リンク：カトリック中央協議会）よりご覧になれます。

福岡教区ハンドブック 2022 について

大変お待たせしております、『福岡教区ハンドブック 2022』は、今年度の司祭の異動、福岡教区宣教司牧方針の決定を受けた掲載内容の刷新、委員会や部門の大幅な変更による担当者の選出・任命など、最新情報の決定・更新に時間を要しているため、発行は5月末から6月初旬になることをお知らせいたします。発行を楽しみにお待ちくださっている皆さまには大変申し訳ございませんが、ご理解・ご協力のほどをどうぞよろしくお願い申し上げます。

福岡教区広報室アドレス http://fukuoka.catholic.jp E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

【虹の会】5月20日（金）10時～11時（場所）高宮教会・小聖堂（問合せ先）☎0900・7468・3631 西田 468・3631 西田

【北九州召命を共に祈る会】5月12日（木）14時～15時（場所）小倉教会（内容）ミサ（問合せ先）☎0949・...

【熊本地区召命を共に祈る会】5月16日（月）9時～10時（場所）手取教会（内容）ミサ（問合せ先）☎0969・222・2758 本渡教会 浦川務神父

案内板 会合と催し 5月のこよみ

福岡教区・宣教司牧方針 冊子発行

今春発表された福岡教区宣教司牧方針は、冊子で各小教区に配布していますので、お受け取りください。また、福岡教区ホームページにも、バナーの「福岡教区宣教司牧方針策定について」のところに、PDFファイルでアップしています。ダウンロードの上、どうぞ活用ください。ホームページでは、今後、アペイヤ司教の動画メッセージや、集計データ、宣教司牧方針のポイントなど、いろいろとアップしていく予定です。

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：イエス様のように祈る 日 時：5月12日（木）10時～15時 内容：「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます」（マタイ11・25） 指導者：S. フランコ神父（聖ザベリオ宣教会） 問合わせ先：真命山諸宗教対話センター 次回：6月9日（木）「イエスは祈るために山に行き、神に祈って夜を明かされた」（ルカ6・12） ☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186 熊本県玉名郡和水町疇浦1391-7 E-mail shinmeizan@gmail.com ☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

- 1日（日）復活節第3主日 大牟田教会司牧訪問
3日（火）聖フィリポ・聖ヤコブ使徒
6日（金）†E.デイキン（2005年 人吉教会）
7日（土）†トマス須賀澤公男（2016年）
8日（日）復活節第4主日 世界召命祈願の日
高宮教会司牧訪問
福岡教区幼児教育連盟
常任司教委員会
10日（火）†R.ハー（2013年 古賀・光丘教会）
12日（木）聖マチア使徒 †J.フィネティ（2001年 美野島）
13日（金）復活節第5主日 吉塚教会司牧訪問
14日（土）†G.ケルクマン（2018年 泰星学園）
15日（日）†ミカエル中浜一男（2005年 浄水通教会・事務局長）
16日（月）管区長会議（～19日）
18日（水）能古島教会司牧訪問
20日（金）†J.マカティ（2019年 笹丘教会）
21日（土）復活節第6主日 世界広報の日（献金）
大名町教会司牧訪問
教会の母聖マリア（年間第8週）
第1回教区全司祭集会・大名町教会
22日（日）†L.グロージャン（2006年 八王子）
23日（月）聖フィリポ・ネリ司祭
24日（火）全国朝禱会 熊本大会
25日（水）主の昇天 西新教会司牧訪問
26日（木）聖母の訪問
27日（金）日本女子修道会・総長管区長会議（～2日）
【6月】
1日（水）聖ユスチノ殉教者
2日（木）†ヨセフ松永久次郎司教（2006年）
3日（金）聖カロー・ルワンガと同志殉教者
4日（土）†V.マテオ（2002年）
5日（日）聖霊降臨の主日 箱崎教会司牧訪問

■ゴシックは司教日程

福岡

感染症の状況によっては開催が中止となる場合もあります。

精神障がい者の相談員をして 守谷 栄二（黒崎教会）

最近の精神障がい者関係の事件報道の中には、孤立する家族の存在が見えます。教会の中では精神障がい者への偏見や差別を感じている信徒からの訴えや相談があります。そんなとき、精神障がい者を抱えて日々苦しむ家族のことを知ってもらい、問題解決ではなく、相談する場所、仲間を見出す場所があればと願うのではないのでしょうか。

「あかつき会家族会」は精神障がいの方を家族に持つ人々の集まりです。同じ悩み、苦しみを抱えた家族が気軽に集い、話し合い、精神障がいに対する正しい知識を学び、支え、励まし合う集いです。私はそこで相談員をしています。相談員の仲間とは、「相談員は助言するのではなく、一緒に対話を進めるうちに自然に解決の道筋が浮かび上がる。そこに感動が生まれる」という思いを共有し体験する日々です。

私の娘も障がいを持っていますが、妻に任せきりでホームレス支援に奔走していた時期がありました。ある時、娘からの「私よりもホームレスの方が大切なね」の一言によって苦しむ娘の気持ちが心に響き、妻の勧めもあって家族会に参加しました。父親の家族会への参加を娘は喜ぶとともに元気になっていきました。私自身も自分が活動を通して娘を喜ばす存在に変わっていくことに気づき、娘に感謝しています。

皆さんの地域にも相談ができる場所があります。それが精神障がい者家族会です。同じ様な悩み、苦しみを体験している仲間がいます。話を聞いてくれる仲間がいます。一度お電話してみませんか。

北九州精神障がい者家族会連合会（あかつき会） 相談専用電話 070-7618-5505 相談日：月、水、金 13時～17時（祝日、年末年始は除く）



家族会例会の様子

編集後記

「復活おめでとうございませう」。四旬節・聖週間には、十字架を黙想した後のこの挨拶には、この世にお生まれになった「メリクリスマス」と比べ、どこかモヤモヤしていました。ですが数年前、カナダに住む弟家族の所で聖週間を過ごした時、日本の聖金曜日（Good Friday）と「Good」と呼ばれることを知って驚き、当時幼稚園生の姪に尋ねたところ、「イエス様が父様の所に帰れた日だから」と笑顔で教えてくれました。他にも所説あるようですが、以来「復活おめでとうございませう。ハッピーイースター」も、心地良い響きとなりました。（W）

福岡教区・広報室からのお願い

皆様のベストショット（風景や季節の植物、動物 etc）や、イラストをお寄せください。趣味で撮影された写真や書き溜めたイラスト（カトリック関係のもの以外でも、景色や似顔絵 etc）など大歓迎！教区ホームページの「音声説教」の背景写真や、教区報の挿絵、教区内（小教区、修道会、関係各所含む）配布の刊行物などに使用させていただきます。作品は誰でも使用出来る「著作権フリー」の素材としてご提供をお願いいたします。送付方法は、広報室へメールに添付いただくか、直接郵送のどちらでも構いません。カトリック福岡教区 広報室（cdf-kouhou@nifty.com） 〒810-0028 福岡市中央区浄水通6-28 カトリック福岡教区本部事務局 広報部

私たちと一緒に おはなしませんか？ 安心してお話が出来る人をお探しの方へ。 メール：hanahanahimawari2020@gmail.com ☎：080-4735-6971（9:00～21:00） ※対応できないときもあります。 ※原則1回30分です。 LINE 右記 QRコード 一ぶろじょくとHana ぶろじょくとHanaは、社会福祉士・看護師・シスターなどが在籍している、礼拝会を中心としたグループです。

福岡教区セクハラ対応窓口 セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談 セクシュアル・ハラスメント相談窓口 電話 080-2694-4182 受付時間 月～金（祝日を除く） 10:00～12:00 13:00～16:00